

近隣病院火災に対するDMAT出動の報告

いさわ
岩手県立胆沢病院



忠地一輝、小野寺克洋、小野寺真知子、菅原寛、小坂淳生

※開示すべきCOIはありません

はじめに

近隣病院で火災が発生し当院DMATが出動したので報告する。

災害の認知

202X年X月X日(月) 外来勤務中
9:46 総務課長からPHSにて連絡。
「消防からの依頼です。E病院で火災あり、DMAT派遣要請です」→ コードブルー(院内放送)でDMAT招集指示

メンバー集めと出動まで

CSCAの確立
本部の立ち上げ:胆沢病院内に病院本部立ち上げ
待機&バックアップメンバー:医師2、看護師2、業務調整員2(計6名)。
出動メンバー:医師2、看護師3、業務調整員2 (計7名)
県災害医療コーディネーター 岩手医大眞瀬先生に電話連絡。
奥州保健所長に電話報告。

隊員間の連絡は電話/lineを使うことを確認。

病院DMAT車+一般車(ハイエース/非搬送用) で出動

被害状況:県立E病院で火災発生。
傷病者等不明。

病院避難状況:不明

活動開始時

活動方針:
総合支所からの患者搬送(全搬送→一部搬送)、
病院への戻り搬送

現状分析:現場指揮所設営済み。
入院患者59名避難済み
トリアージ済み
火災は鎮火しつつあり、黄/緑
患者の入院継続は可能
赤 9人の転院搬送が必要



課題:赤患者の、搬送手段と搬送先の確保。
他職種との連携。



活動中

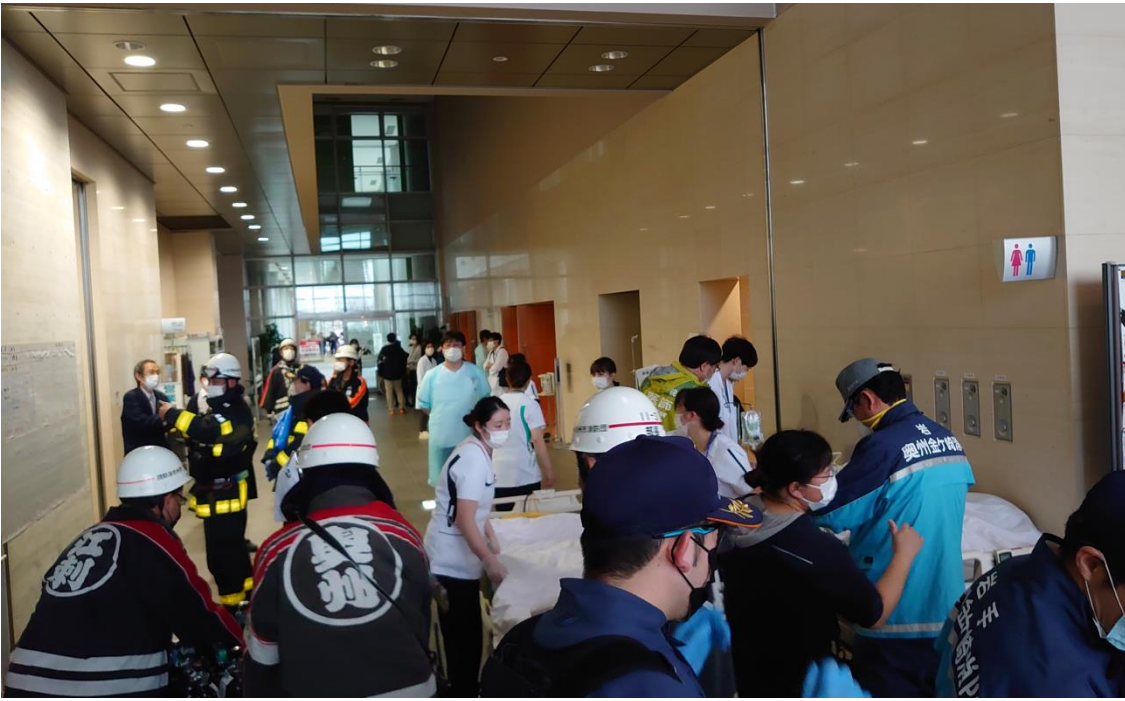
活動方針:
総合支所からの患者搬送
赤9名転院搬送、黄/緑 50名 病院への戻り搬送

現状分析:
赤搬送先 6名を当院、3名を市立病院で受け入れ可
搬送手段 消防救急車 3台でピストン輸送可
他職種連携 市消防本部のリエゾンと連携



課題:
黄/緑患者の、搬送手段確保。
福祉タクシー、保健所の車利用検討

E病院への戻り搬送



DMATと市消防本部で戻り搬送について相談している間に、地元消防団と病院スタッフが人力で戻り搬送完了。
雨が降り始め残っていた数名を救急車にて搬送。

出火原因

手術室の空気調和機本体のファンベルトが切れ、送風できなくなり、空気を暖めるヒーターが高温になりすぎて発火。



考察

- 発災連絡から早い段階でメンバー集め、役割分担(病院本部、現場出動)を行うことが出来た。
人が集まらないとき他病院DMATへの応援が必要だが、現場の状況が正確に伝わらないと出動要請は困難。
- 活動指揮所を立てることはできたものの、病院災害対策本部設営の協力は出来ず、その点では追加DMAT派遣を検討すべきであった。
- 行政としての市消防本部と連携はできたものの、地元消防団との連携は出来なかった。
市消防本部とは共同訓練することは可能だが、地元消防団との連携については課題。